



命の花プロジェクト

～殺処分ゼロを目指して～



当センターで飾っている『命の花』

「命の花プロジェクト」は「青森県の動物殺処分ゼロ社会の実現」のために平成24年に青森県立三本木農業高等学校動物科学科愛玩動物研究室が始めた活動です。

当時の生徒が青森県動物愛護センターへの見学で、殺処分され最後にはゴミになってしまう動物の骨を目の当たりにし、「その骨を肥料として土に還してあげたい」「形が変わっても命として続いてくれますように」と思ったのが始めたきっかけだったそうです。

今回は同じ意志を持つ青森県立黒石商業高等学校「ペットビジネス班」の皆さんに、『動物を守りたい』という活動をしている長内薫さんがインタビューに伺いました。

Q1. 命の花プロジェクトを始めたきっかけは？

先輩方より引き継がれた「ペットビジネス」を班名とし、三本木農業高等学校が行っている動物愛護センターで殺処分された動物の骨を細かく砕いてそれを肥料にして花を製作することに参加したことです。

Q2. どんな思いで製作活動をおこなっているのか？

最初は嫌だったけど、製作していくうちに殺処分を減らし命の大切さを伝えようと思った。

Q3. 飼育放棄をする人に何か訴えたいことはありますか？

- ・ ペットを簡単に捨てる人の気持ちが分からない。ペットの気持ちを考えてほしい。
- ・ ペットも家族などで責任を持って最後まで育てるのが普通！ 捨てるのはありえない。
- ・ 以前、殺処分の内容のテレビで、犬が飼い主に水もご飯も与えてもらえずにガリガリに痩せている姿が映っていて、それを問いつめたらお金がないと言っていたけど、自分だったら節約してもご飯を与えたいと思った。
- ・ 日本もドイツのように先進国になれば殺処分がなくなる。


※ 殺処分される動物は「引っ越しで飼えなくなった」「猫が子どもを産んだ」「飼い主が年をとり世話ができなくなった」等の理由で動物愛護センターに持ち込まれるといい、飼い主の見通しの甘さがほとんどのようです。

インタビューを終えて

「命の花」を製作することで心を痛めても頑張る姿に、心を打たれました。命の花を製作すると共に、動物を飼う時にペットショップやブリーダーから購入する以外に動物愛護センターから引き取って飼うことができること。それが捨てられた動物を救うことになるんだと訴えることも必要だと思いました。

この活動の結果なのか、動物の殺処分が去年に比べて約半数にまで減ってきているそうです。殺処分ゼロになることを願うと同時に、自分でも何かできることを考えたいと思いました。

長内薫

 当センターでは、この活動に携わった三本木農業高校卒：向井愛実さんの「いのちの花」の本を貸し出ししていますのでご利用ください。

●黒石商業高校「ペットビジネス班」

工藤 沙弓さん 工藤 理奈さん 太田 美咲さん
千葉 恵理香さん 成田 藍衣さん 山本 英二先生



※ 製作した「命の花」はイベントの時などに配っているそうです。

当センターでも、元気に咲いています。

ちょこっとボランティア

ベルマーク運動

たいていの方は一度は協力されたことがあるのではないのでしょうか？
子供さんが学校を卒業したことで関わりがなくなり、せっかくのベルマークを捨ててしまっはいませんか。

小学校では学校以外でも気軽に届けていただけるように、スーパーやデパート・郵便局などに協力いただいて回収箱を設置しているようです。
(見当たらない場合は、お店の人に確認してみてくださいね。)

集められたベルマークは1点1円で、点数に応じて学校に必要な備品・教材を「協力会社」から購入することができます。その購入金額の10%が自動的にベルマーク財団に寄付され、へき地の小規模校や養護学校・盲学校・ろう学校などの援助を必要としている子どもたちのために使われるということです。

今まで捨ててしまっていたベルマークが、学校の子どもたちのために役立ちます。あなたも**ちょこっとボランティア**してみませんか。



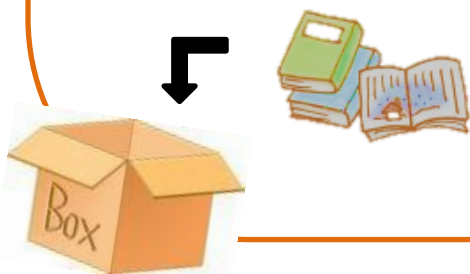
本で寄付

前号で掲載した“眠っている本ありませんか？～本と本、人と人をつなぐ移動図書館～”で「眠っている本を送ると、シャンティ国際ボランティア会に寄付されます。」という記事の通り実際に送ってみました。ボランティア支援センターの職員やふくろう通心スタッフが本を持ち寄った結果、2箱詰めることができ電話で集荷の依頼。面倒な伝票記載も不要で、もちろん送料は無料です。

ひとりでは箱ひとつを眠っている本で満たすのは大変ですが、何人かで協力しあうと1箱になります。

職場や仲間を持ち寄り送ってみるのも**ちょこっとボランティア**です。

連絡先…シャンティ国際ボランティア会 (03-6457-4585)



豆知識

狛犬…たいていの神社では1対で向かい合って台座の上にいるイメージですが、岩木山神社にいる3対の狛犬のうち、楼門前の石段の角柱の裏には、参道を覗き込むようなポーズで、とぼけた顔の2頭の狛犬がいます。

最近では、この狛犬と写真を撮るとご利益をお受けできるとか。上を向いている狛犬と撮ると金運アップ、下を向いている狛犬と撮ると恋愛運がアップするといわれているようです。

参拝する機会があったら、ちょっとだけ時間を作って、この狛犬を探してみませんか。



編集後記

豆知識の“狛犬”に会いたくて岩木山神社に足を運びました。

金運か恋愛運か…歳が増えるとともに、健康診断の結果の数値も増えてきている近年。狛犬とのツーショットではなく、拝殿に手を合わせ「健康運」の願いをしてみました。 小山



<製作>市民ボランティアスタッフ<製作協力>弘前市ボランティア支援センター
〒036-8355 弘前市大字元寺町1-13 弘前市民参画センター内
TEL: 38-5595 FAX: 36-1822
HP: <http://www.hi-it/vsc>
情報紙についての意見・感想をお待ちしております。